

やすらぎ

平成22年3月1日
〔第131号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

ニューモラル勉強会に参加して

2月12日(金曜日)午後8時より事務所にてニューモラル勉強会が開催されました。このところ2、3日春の陽気で上着を脱いで仕事をしていましたが、今日の寒いこと！コートを出して、マフラーして事務所に来ました。

吉田代表の挨拶と宣誓文で開会し、万葉あすか事務所からお越しいただいた米田昌彦御先輩から、体験談として、「自宅の机でモラロジーの当番の原稿を書いていた時、その頃小さかった自分の子供が誤ってコップの水をこぼし、原稿が濡れてしまったので子供が泣くまで大きな声で怒ってしまいました。コップに水が入っていれば、水がこぼれる。酒が入っていれば、酒がこぼれる(もったいない)。墨が入っていたら、墨がこぼれる。同じ口(コップ)から出る言葉。中身が何かによって出るものが違ってくる。自分の心の中がやさしい気持でいっぱいであつたら・・・」反省させられるお話でした。



続いて前川勝義御先輩から、今年の『れいろう』11月号の【この人に聞く】医学博士、笑医塾(わらいじゅく)塾長高柳和江さんの記事からお話しいただきました。



高柳さんの講習では、心から笑えるようになるために、自分を好きになる、自己効力感を高めることから始めます。まず二人ひと組になり、最初に握手をして挨拶。これで相手が安全な人だと分かり、自然と笑みがこぼれます。

その後、互いに相手のいいところを五つ見つけてほめ合います。「いい服ですね。高かったですでしょう」ではダメ。「いい服ですね。その服を選んだあなたのセンスが素晴らしい！」と内面をほめることがポイントです。

ほめられた人は「いえいえ」なんて謙遜せずに、「ありがとうございます、よくわかりましたね」と受け入れる。

初対面の相手のいいところを五つも見つけるのは大変です。大変だから懸命に探します。その真剣さが伝わるから「ああ、この人は本気でほめてくれているんだな」とわかり、スッと受け入れられる。そうすると人間って、心から笑顔になれる。他人に認められているという自信が、自己効力感を生みます。そうして自分を愛する気持ちがあって、人は初めて相手を幸せにできる。相手のほほえみを引き出すことができるんです。

お金もかからなければ、副作用もない。自分も周りの人も元気になれる。この「笑医(わらい)」を全国に広めて、もっと日本を元気にしたい。それが私の夢です、と締めくくられました。

「微笑み」「笑顔」「笑い」。見ているだけでこちらも楽しくなります。日本中が笑顔になれば私も素晴らしいと思います。

上田 均



京都加茂 三上山(さんじょうさん)へウォーキング

1月の歩こう会の行事は、奈良から国道24号を北上、京都の入り口を右へ伊賀街道R163号を少し走った北側に見える小高い(473m)山、三上山へのウォーキングです。

奈良から京への入り口地点、昔は一時の栄華の過ぎし都、恭仁京(くにきょう)大黒殿跡の広大な広場に駐車。ここから山の中腹、海住山寺(かいじゅせんじ)を経て三上山への道程です。

小川のそばを通り、冬枯れのたたずまいの村落を抜けると、急斜面にはり付くように植えられた茶畑が目飛び込んで来た。その脇を登り、九十九折りの急勾配の坂道に感心しながら登って行くと海住山寺の山門に着く。



この寺は、国宝の五重塔をはじめ重文の文殊堂、本堂、鐘楼、不動堂といった八世紀頃の古いお寺で、境内の山には洞回りが何メートルあるのか、太い太いやまももの巨木が幾百年の時を経て、その寺の歴史をジッと見つめながらも何も



語らず根を張っている。その横を仰ぎ見ながら山道に入る。

神童寺方面と書かれた道標に導かれて行く程に分岐に出る。そこをやり過ぎし林道を経て右に進むと「冒険の道」と書かれた所にたどり着く。ワクワクしながらその道に入る。きれいに両側が整備された木の階段を一時間半程登ると“冒険”とは何だったの?と思いつつ三上山山頂に着く。一息入れて、少し早い昼食を皆で頂く。11時にもなっていないが腹の虫は12時をとくに過ぎている。一汗かいた後の食事ラーメンがとても美味しい、来て良かったよー。

空はどんより雨模様、遠望とまではいれないが、奈良北部、京都南部、生駒がかすんで見えた。眼下には木津川の流れも見ることが出来た。

帰りはコースを変えて下る事となった。距離はありそうだが緩やかな道。落葉を踏分け進む程に、今度は「かいがけの道」と書かれた道を

歩く。かいがけて何やろうな！かいらがけの道？かりがかけた道？誰れかが帰りがけに掛けといた道？とか、とんち回答に和気あいあいとした雰囲気疲れも知らず見事な竹林へ出た。

歩けど歩けど竹林のトンネル、里に近づく程に気が付いた事があった。それは竹がきれいに管理されていた。竹の足元にワラを敷き、その上に土を覆い肥料を施し竹と竹の間が保たれ、竹の先が伸びすぎない様カットされている。きっと美味しい竹の子が出来るんだろうなと想像したり感心したり。そんなこんな竹藪を過ぎると里に出た。万歩計は2万歩を表示。

今日は心地よい疲れと満足感で感謝感謝。次回は皆様の参加をお待ちしています。

上島 春香



かいがけの道 = 峡崖（かいがけ）道と書き、古からの道。平安時代から鎌倉時代にかけて、京都の天皇や貴族たちの熊野参りがさかんになり、京都から鳥羽に出て淀川を船で下り、交野にあがって「かいがけ道」をのぼりつめ大和へ出た。

ツアーガイド(3) 思い出の町

ハイスクールの3年間、その新鮮な空気を吸った奈良の町へ、なんだか古里に里帰りする気持を抱いて頻発する行動が、時に呵責を募らせるようにも思うが、自分自身そのことを許し続けている。

文学へと傾いていった少年の奈良の町は、かすむ55年も遠い昔へと去っていったが、あの町は奈良県の首都、仏教の古都、そして駐留するアメリカ人の文化等とさまざまといきかう町であった。

少年の未熟な幼い心の蕾が、一変して開花されるに易い環境にあった。そして戦前に最高学府を経て、戦後の新鮮な教育方針を得て、教壇に立つ教師たちは、大学を志させない秀でた生徒たちに、決して出しおしみのないまじめさで教え導いていった。奈良近代文学事典に、2人の恩師の名前が今も記載されている。

国語の教師であった、大上敬義と森口武男で、心豊かな詩人であった。在学中の昭和29年12月に、彼たち7人の仲間が「地蟲社」という同人結社を結んだ。

大上先生は、数々の校歌の作詞をしていた。

森口先生は夏目漱石を好んで授業を断線させ、「坊ちゃん」とあざなされていた。父は春日大社の権宮司で、彼はやっぱり坊ちゃんをただよわせていた。彼らは幾度となく、ガリ版刷りの詩集を発行して、生徒に見せていた。進学と言う責を負わない授業は楽しかった。しかし、多くの仲間の中で自分は、進学を志しかけていた。

2年生での担任は木口弥嗣で、彼のあざ名は「エンマ」といった。進学には数学の補習が必要とされた。そして特別な計らいを考えてくれた。それから彼は個人教授を受ける手続きをとってくれた。引き受けてくれた数学の先生、治多一子はお茶の水女子大学出の才媛で、奈良市幸町に住んでおられた。週に1回彼女の自宅へとかよった。

学校の芝辻町から40分歩けば、紀寺町の飛鳥小学校へ来る。その大通りから東へと小路を行けば、大きな邸宅があって、その南裏側に4軒長屋があった。大きな邸宅は、明治42年に奈良市に誘致された元陸軍奈良53連隊の連隊長の公邸で、その裏側の平家は従官の官舎であったらしい。

志賀直哉は大正14年4月、京都山科から奈良に移り住んだ。直哉は、昭和13年4月に行くまで、この地に13年間過した。そして『暗夜行路』を完成させた。彼は昭和4年に新築の高畑町へ移住する迄、元連隊長が住いしたこの幸町の屋敷に住んだ。

志賀直哉は随筆『奈良』で、「奈良は美しい所だ。自然が美しく残っている。建築も美しい。そして二つが互ひに溶けあっている点は他に比を見ないと言って差支へない」と言っている。

治多先生の母に案内されて路地の対面にある大邸宅へと入っていった。

式台の付いた玄関の広い大きな家で、土蔵などがあつたが空き家となつて、唯一離れ座敷だけが使われていた。彼女は家全体を管理していた。以後その部屋で週に1日、宿泊した。寡婦となつていた老婦人は、朝飯を運んで来てくれて、親しくなる頃には志賀直哉と訪れてくる友人達の昔話を聞かせてくれた。



トーマス

運営委員会報告

2月22日(月)午後8時から定例の運営委員会が開催され、委員13人が出席しました。吉田代表世話人は「皇居清掃奉仕が12月5日(日)～10日(金)で行われます。参加希望者は、代表世話人まで届けてください。詳しくは、事務所後方に掲示しますので、ご覧ください」と案内し議事に入りました。

報告事項

青年クラブ(米田青年クラブ長)からならgenkiプロジェクト(奈良県青年持ち回り企画)は、4月18日(日)13:00～16:00、旧御所東高等学校体育館で行います。案内申込書が完成(1000部)、県内各事務所へ配布します。参加目標人数は100名、3月31日申し込み締め切り。参加費500円(保険代)

主催は御所モラロジー事務所、運営は、御所モラロジー事務所青年クラブ。測定器具などレンタルする。費用は無料で借りられるよう交渉中。

審議事項

1. 平成22年度教育活動目標設定を行い、維持員増の促進...5名増、世話人会議の開催...12回、1回の参加人数は15名(運営委員会の構成員と地区委員は参加)講座受講の推進...本部講座5名、基礎講座7名、生涯学習セミナーの開催 新人200名の勧誘などを決定しました。
2. 平成22年度事務所役割については、基本的には、留任していただきたいが、役職の交代希望者は、代表世話人へ届けることになりました。
3. 平成22年度総会は4月12日(月)19:30～22:00で総会と懇親会を行う。当日のスケジュールを3月の運営委員会までに総務委員会で検討する。4月7日(水)臨時運営委員会で総会資料の見直し、9日(金)20:00～資料づくり。

その他

1. 女性クラブ(田村女性クラブ長)は3月23日(火)～24日(水)谷川記念館へ1泊研修旅行を行います。男性の方もご参加ください。案内申込書は特に作りませんが、満員(25名でいど)になれば、締め切ります。担当は、杉村洋、玉巻小夜。
2. 家族のきずな(祖父母と孫)について具体的活動の実施を検討し、祖父母と孫が集って学習する場を設けるため、担当を決める必要があり、継続審議とすることになりました。
3. 3月29日(月)お世話活動委員会を開催します。古川講師(大和宇陀事務所)が最後の当番になります。いろいろな体験談をお話していただけますので、多数ご参加ください。

編集後記
浅田真央ちゃん銀メダルおめでとー。キムヨナさんはさすがの演技でお見事。均(金)バンクーバー冬季五輪が始まって家で中継を見るのが楽しみです。おはじき遊びの大型版カーリングもすっかりファンになりましたが、準決勝進出ならず。
3月1日閉会式です。一本上がらなかつた聖火台はどうなりましたか?
きん